

長谷川たかこ

民主党公認

声なき声を、国政へ。

本当に必要なところに支援が行き届く社会をめざす

「子供たちが将来誇れる足立区にしたい」

「23区で最もすてきな街にしたい」

私はその想いで区議会議員初当選以来、2期8年活動してきました。

私が常に大切にしていることは「皆様のお声と目線」です。それを基に調査・研究し、国の施策では構築されていない、本当に必要な支援分野がたくさんあることに気づきました。

私は国政に携わることで「本当に必要なところに支援が行き届く社会」を全力で構築していきます。粘り強く区議会で政策実現をしてきたように「皆様の声なき声」を反映した政策を国政で実現すべく、これからも実績で勝負します。

今後ともよろしく願いいたします。

今回の総選挙の争点 長谷川たかこの考え

経済政策

アベノミクスで浮かれているのは一部の人だけだと思う。

富裕層と貧困層だけでなく、大企業と中小零細企業の格差も広げ、国を二分しているだけと考えるからです。

世界の争い

集団的自衛権の解釈変更、勝手にしちゃっていいの？

独断で解釈を変えて、世界の争いをかって出なくても、日本ならではの国際貢献ができると考えます。

原発再稼働

次の世代に美しくゆたかな日本を残したい。

再稼働しなくても、原子力に代わる新たなエネルギーを開発できる技術力が日本にはあると考えます。

長谷川たかこの政策

- 1 やることいっぱい子育て支援。
妊娠・出産・子育て支援策の抜本的拡充
- 2 誰もが安心の社会保障制度へ。
社会保障制度の安定化と充実
- 3 やさしくて、あたたかい世の中に。
障がい者支援の抜本的拡充
- 4 就労支援の前の段階が大事。
生活困窮者等の自立支援
- 5 将来に不安のない労働環境を。
非正規労働者の雇用改善
- 6 株高よりもみなさんの手元に届く景気対策。
国民生活に留意した柔軟な金融政策

プロフィール

1973年3月16日生まれ。中央大学法学部卒業・青山学院大学大学院法学研究科修士課程修了。国会議員秘書などを経て2007年から足立区議会議員。夫（弁護士）と長女（高校生）、次女（中学生）の子育て真っ最中。

長谷川たかこの理念と姿勢

誰もがおだやかで、心豊かに暮らせる国こそ、先人から引き継いだ日本です。強い者がより強くなり、富める者がより富んでいく政策を指向するのではなく、子どもや高齢者、女性や障がいをお持ちの方など弱い立場の人の視点で私は政治に携わります。



Manifesto Awards

第5回 マニフェスト大賞

最優秀政策提言賞受賞

比例は



www.takahase.com



アベノミクスで暮らしはほんとうによくなりましたか？



台所で恩恵はありますか？

毎日の生活にかかせない食料品は、値上げのニュースばかり。アベノミクスの恩恵は台所には届いていません。

パン (2014年7月～)

●出荷価格ベースで4～6%

食用油

●去年7月30円/kg以上
今年4月20円/kg以上値上げ

輸入小麦 (2014年4月～)

●約58,590円/トンに値上げ
⇒パスタ、うどん値上げへ

(各種報道資料より)

給料が上がらなくて、買い物を控えていますか？

(すべて2014年10月現在)

↑ 消費者物価 (総務省統計)
前年同月比で16ヶ月連続プラス

↓ 消費支出 (総務省統計)
前年同月比で6ヶ月連続マイナス

↓ 実質賃金 (厚生労働省統計)
前年同月比で15ヶ月連続マイナス

↓ 貿易収支 (財務省統計)
26ヶ月連続赤字



円安による原材料や燃料の値上がりで物価が上昇しています。なのに給料は上がりません。これでは思い切った買い物をしようとも、先々のことを考えてしまうのではないのでしょうか。将来への不安が増すばかりです。

円安は家計を直撃!

1ドル 79円から110円

年収	急激な円安で…	ちなみに消費税 5% → 10% で…
300万円	年間約 11.5 万円	年間約 10.2 万円増
500万円	年間約 14.1 万円	年間約 13.3 万円増
700万円	年間約 16.3 万円	年間約 17.1 万円増

(円安の試算: 土居英二 静岡大学名誉教授の試算(雑誌「経済」2013年8月号)より
消費税10%の試算: 第一生命研究所の試算より)

株を持つ人だけが得をする？

東京・名古屋・福岡・札幌証券取引所の 外国法人の株式保有比率

30.8% (2013年度)

(2014年6月 東京証券取引所発行「株式分布状況調査の調査結果について」より)

単純に計算して、時価総額の30%は外国のものと考えなければなりません。1990年には4.7%でした。したがって、株高が国内経済におよぼす好影響は以前と比べて弱まったのではないのでしょうか。

定期預金金利

0.026% (1年定期・300万円未満)

(2014年11月19日 日本銀行金融機構局「預金種類別店頭表示金利の平均年利率等について」より)

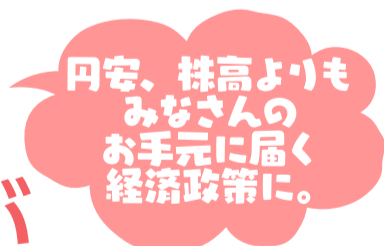
国民の金融資産の半分以上は現金・預貯金。ところが定期預金の利息はすすめの涙にもなりません。いくら頑張って働いてコツコツ貯めたとしても、通帳の数字はそのまんま。多くのみなさんが好景気にいまいち実感がわかないのは、資産が増えないことにもあるのではないのでしょうか。



アベノミクスは、格差拡大を助長するだけ。

国内でもっとお金がまわるしくみを。

「厚く、豊かな中間層」の復活こそがこれからの日本経済に必要です。



私は実績で勝負する。これからも。

東京13区は

長谷川たかこ

